

1

日頃からの災害への備え

■住まいの防災対策

災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。住まいを災害に強くしておくことが、一緒に住んでいる動物の安全にもつながります。

地震に備えて家具の固定や転倒防止、住まいの耐震強度の確認などの対策をとりましょう。

動物が普段いる場所や飼育ケージなどは、災害のときに動物が安全でいられるよう、定期的に点検し、固定するなどの対策をとりましょう。

室内で飼っている場合

動物が普段いる場所は、地震のときに家具やケージが倒れたり落下したりしないようにしっかり固定しましょう。水槽などで飼っている場合は台に固定し、ガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策をとりましょう。



屋外で飼っている場合

飼育場所は、地震のときに破損しやすいブロック塀や、ガラス窓の下、倒れやすい建物のそばは避けましょう。災害時には動物が驚いて逃げ出すことがあります。首輪や鎖は外れたり切れたりしないか、ケージや囲いには隙間がないか、定期的に点検しましょう。



■家族で話し合い

災害が起こったときにどうするか、さまざまな場面を想定して、家族全員で話し合っておきましょう。災害のときに動物を守れるか、連れて避難ができるか、動物の種類(品種)や数をよく考えて飼いましょう。

- 家族間の連絡方法、集合場所
- 非常持ち出し袋など備蓄物資の保管場所と中身
- 飼っている動物をどう守り、避難させるか
- 飼い主が留守中の災害の時の対処方法



■ご近所、飼い主仲間との連携

普段からご近所の方々と良好な関係を築けるよう、コミュニケーションや飼養マナーに気を配るとともに、万一のときにお互いが助け合えるよう、ご近所や飼い主仲間と防災について話し合っておきましょう。また、緊急時に動物を預かってくれる方や場所を確保しておきましょう。